

公共施設周辺の 違法駐車をなくせ

質問

颯江町地内の市道3千159号線を挟んで、永和地区防災コミュニティセンターと永和児童館及び永和保育園の3施設が集まっている。

違法駐車で占有されている市道は通学道路であり、また県道と結び重要な生活道路でもある。

施設管理者が違法駐車の原因を作り、道路管理者は違法駐車を放置している。現状をどのように認識し、どのような解決策を考えているのか。

副市長

地元総代から要望書が提出



村上守国 議員

された。内部でよく現地調査、

現況などを把握した。理想的には迷惑駐車は排除しなければならぬが、駐車場をすべて確保することは難しい。しかし付近の空き地を借りるなど最大限のやりくり的な場所の確保、そういったものには最大限これからも努力していきたい。

質問

防災センターが使用されていない時は駐車場が施設されている。保育園など他の施設が絶えず利用できるように見直しできないのか。

企画部長

常時、駐車場を使うと、安全面や管理面で不都合が生じる。対策は講じていかなければならないが、現行の管理の状況の中で進めていく。



質問

地域住民からの申し出が、口頭でも文章でも的確であれば即対応すべきと思う。危機管理システムはどうなっているのか。

副市長

市民の苦情、要望は口頭であれ文章であれ真摯にきちんと受け付けている。

発生原因となっている担当課を事務局とし、関係する課を集めた対策本部を設けて対応しているのが基本的な考えである。今後スムーズに対応していきたい。

地域活動に 備品貸出制度の策定を

質問

生涯学習におけるまちづくりが従来から盛んに行われており、各区自治会では積極的に地域づくり活動が行われている。自らが住む地域の活性化に資する活動や、環境美化、道路・水路の維持、資源回収、緑化推進活動などの自主活動を地区の年間事業として実施している。

昨今では自主活動する上で、おいて、車両を始め、道具類の確保に非常に困難をきたし、地域社会活動に支障が生じている。

愛西市における地域社会活動に対して支援を行うため、市が所有する備品を貸し出す方策は考えられないのか。

総務部長

特殊なもの、例えば交通安全の警棒、腕章、トラサく、側溝のふた上げ機を貸し出しをしている。トラック、草刈り機、かまなどについては地域の協力をお願いしたい。制度化するとは考えていない。